

プログラミング出張授業

～まほうつかいになるう～

プログラミングとは？

テレビ、冷蔵庫、スマホ、ゲーム、信号機、銀行ATM、自動ドア・・・などは、プログラミングで制御されています。プログラミングは、私たちの生活に欠かすことのできない身近な存在です。

なぜ、プログラミング？

プログラミングを学ぶことは、社会の“あたりまえ”を“なぜ？”に変えてくれます。
例えば、レゴWeDoでセンサーを学べば「なぜ、自動ドアが開くの？」を考える“きっかけ”となります。
将来、社会の課題を解決できる“強力な武器”の1つになります。
政府が2020年からプログラミングを小学校、中学校、高校で必修化した背景だと考えます。

出張授業は3つの教材で行います。パソコンのマウスと簡単なキーボード入力も学べます。



スクラッチ

命令文のブロックを積木のように組み合わせてプログラミングを行いキャラクターを操作します。

問題が発生しても自分で考え、挑戦と失敗を繰り返し学べます。他の教材も同様です。

レゴWeDo

組み立てたレゴブロックにモーターやセンサーを付けます。それらに対してプログラミングを行いレゴを操作します。実際に手に取り、動かせることが他の教材にない魅力です。



マインクラフト

世界一売れているゲームです。ゲームの枠には収まらず、世界各国でIT教育の教材として利用されています。



“まほうつかい”についてはホームページをご覧ください。

<https://www.hitoprog.com/>



授業担当：柴木

授業風景

